

尾道市立市民病院理念

尾道市立市民病院は、信頼される安全で
質の高い医療を提供し、市民の皆さまの健康を守ります。



病院長 宮田 明

ごあいさつ

皆様、明けましておめでとうございます。平素より当院の運営にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

わが国は未曾有の少子高齢化社会に突入致しました。

尾三二次医療圏(尾道市、三原市、世羅郡世羅町)の人口は現在の26万人から2025年には23万人弱に、2040年には19万人に減少することが予想されています。一方、75歳以上人口は、2010年4.3万人から2015年に4.5万人へと増加、2025年にかけて5.2万人へと増加、2040年には4.6万人へと減少することが見込まれています。この地域は日本全体よりも高齢化を先取りしている傾向があり、2025年の高齢者の増加率は日本全体よりも低いようです。

優れた健康水準を低コストで公平に実現させてきた日本の社会保障制度ですが、こういう状況下で早急に社会保障制度改革を行う必要に迫られ、今後の医療・介護の改革の道筋を示すため、一昨年8月に「社会保障制度改革国民会議報告書」公表されました。基本的な考え方が「いつでも好きなところで、お金の心配をせずに求める医療を受ける」から、「必要な時に適切な医療を適切な場所で最少の費用で受ける」となり、「病院で治す(キュア)」医療から、「地域全体で治し・支える(ケア)」医療へと変わりました。この報告書に沿って昨年6月「医療・介護総合確保推進法」が公布されました。それによると昨年11月14日までに医療機関が都道府県知事に病床の医療機能(高度急性期、急性期、回復期、慢性期)等を報告し(病床機能報告制度)、都道府県は、それをもとに地域医療構想(ビジョン)(地域の医療提供体制の将来のあるべき姿)を医療計画において策定する事になっています。これから定められるガイドラインに従い、本年4月以降に地域医療構想策定のための作業に入ることになります。構想は「地域医療構想区域」ごとに作成され、区域は省令で定められますが、概ね二次医療圏と一致する見込みです。医療機関による自主的な取り組み、相互の協議により機能分化・連携を推進させることとなり、構想を実現するための「協議の場」が都道府県により設置されます。医療関係者、医療保険者などが参加し、

地域で必要な取り組みを協議する事になります。それぞれの地域にあった在宅医療、介護、生活支援を含めた地域包括ケア計画が立てられ医療機能の分化と連携が推進されることとなります。

当然この尾三二次医療圏でも「協議の場」(地域医療構想調整会議)が持たれることになるでしょうが、これからは個々の病院だけで完結することを考えず、医療者が行政や住民の方々と共に広い視点でそれぞれの地域の特殊性を加味しながら地域に相応しい医療、介護のあるべき姿を模索し、各医療機関の地域でのポジショニング、存在意義を確認、証明して行く時代になったと思われまます。大変な作業になると思われまます。これから病床の再編成が完結する2025年にかけての激動の時代を適切に乗り切つてゆくため、医療環境の変化に柔軟に正しく対応できるよう当院では経営戦略検討委員会を立ち上げました。現在のところ当院は急性期病院として地域に貢献することを目標としております。

この冊子が発行される頃には衆議院選挙の結果も出ていと思います。安倍首相の消費税引き上げ延期の決断で、8%への消費税アップで打撃を受けていた多くの医療機関は少し気が楽になっていると思います。しかし財源不足のため社会保障の充実が見直されるという話もあり、今後の動きを注意深く見守つてゆく必要があると思います。如何に医療環境が変わろうとも当院は自治体病院であり、地域医療の最後の砦、セーフティ・ネットであることを病院の原点としており、24時間二次救急に対応できる体制の維持を始めとした、地域住民に真に必要な医療を提供することが病院の使命であることは職員一同共通の認識であります。これからも引き続き安全で質の高い医療を効率的に提供し、地域の皆様方から信頼される病院、地域に無くてはならない病院であることが出来るよう、一同邁進してまいりますので、本年も変わらぬご厚誼と、ご指導、ご鞭撻、そしてご支援のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

海外学会発表だより

クアラルンプールで発表しました。

研修医 宮島 佑一

私は11月6日～8日にマレーシアの首都、クアラルンプールで開催された2014 IASLC Asia Pacific Lung Cancer Conference (APLCC)に参加させて頂きました。

まず始めに、この度で指導頂いた先生方に感謝申し上げます。またこのような機会を与えてくださった尾道市立市民病院の方々にも重ねてお礼申し上げます。

近年の高齢化に伴い、高齢の癌患者さんが増加しています。2025年には75歳以上の3分の2が癌で亡くなると言われ、現在、高齢者の癌患者さんに対してどのような治療を行うべきであるかが議論されています。

「高齢者」というのは一概に一括りにできるものではなく、併存疾患、ADL、心肺機能など、患者さんによって様々です。そのため「高齢者だから」という理由で手術対象から外すべきではないと考えられています。今回私は、当院で肺癌の手術を受けられた85歳以上の患者さんについて検討し、どのような患者さんに対して手術すべきなのかを、英語でポスター発表を行いました。

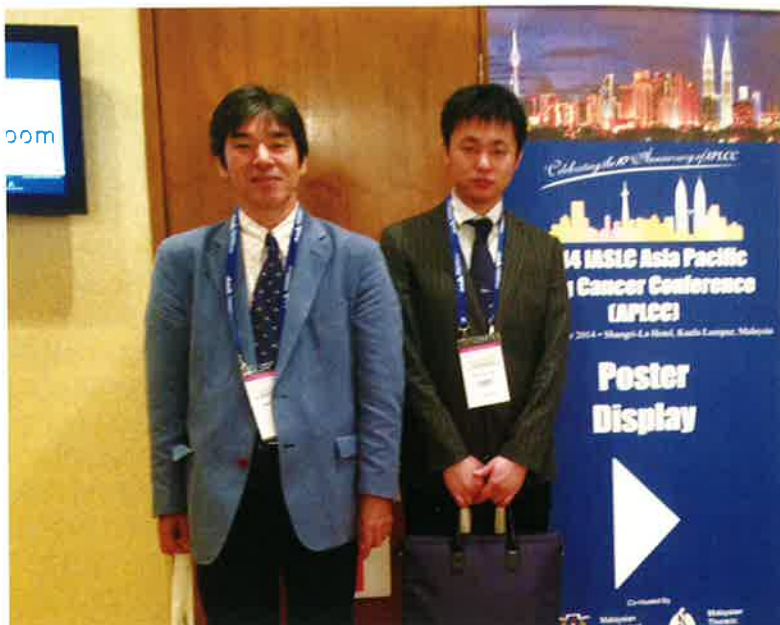
これまで私は、何度も学会発表をしてきましたが、たくさん症例をまとめて検討し、発表したことはなかったため、まず日本語で発表できる形になるまでに非常に時間がかかりました。更にそれを英語に訳すとすると、それなりの数の英語論文を読まなければなりません。その後も紆余曲折あり、指導医の川真田先生をはじめ、様々な先生方にご指導を頂き、なんとか海外発表に漕ぎ着けました。

今回の海外発表で私は、

①英語論文を読むこと、②英語で文章を書くこと、③英語で発表すること、④英語の発表を聞くことが大切であると感じました。これまで私はほとんど英語論文を読んだことはなかったのですが、いざ読んでみると、情報量の違いに大変驚きました。例えば同じ分野や疾患でも、英語論文の方がより良い検討や深い考察がされていることが多く、(実際、学会の内容はほとんど分かりませんでした)それは講演や発表にも同じことが言えると思いました。決して、英語論文・発表＝良い論文・発表ではありませんが、良い論文を書いたり、良い発表をしたければ、可能な限り英語で行う方が良いと感じました。

繰り返しになりますが、研修医という立場で海外発表をさせて頂くというのは皆ができることではなく、このような機会を頂いたことに大変感謝しています。

今後も日々の業務、研修に邁進しつつ、今年度中に英語論文を1本は書けるよう、自分に厳しく頑張りたいと思います。



川真田医師 宮島研修医



診療放射線科紹介

新しいデジタルガンマカメラ(R I 装置)を導入しました。

デジタルガンマカメラ(RI装置)は、2001年度(平成13年度)に更新されてから約13年が経過しました。検出器の故障や画像処理用のコンピューターの故障などもあり、今年度更新することになりました。

<RI(核医学)検査とは>

RI(核医学)検査とは、微量の放射線を発する放射性医薬品を投与して、薬剤が集まった部位からの放射線をガンマカメラと呼ばれる装置で検出し画像にする検査です。

CTやMRIでは病気による形態の異常をとらえるのに対して、RI検査では投与した薬剤が体の機能によって検査目的の部位に運ばれていくので、病気による機能や代謝の異常を調べることができます。

<画像処理装置(ワークステーション)>

RI装置の更新により、画像処理装置(ワークステーション)も最新鋭の画像処理ソフトを搭載したワークステーションになりました。それによって、新たに追加されたソフトがあります。

1つは、他のモダリティ(CT・MRI)の形態的な画像に、核医学検査の画像を重ね合わせて(フュージョン)表示させる事が可能となり診断能の向上が期待できます。

その他にも検査の種類によって、画像処理ソフトを使って撮像時間を短くした場合でも通常検査条件と同等の診断画質を維持できることが期待できます。

また、2014年1月から保険適応となったパーキンソン症候群およびレビー小体型認知症の診断用の新しい検査薬が発売になりました。新しいワークステーションには、備後地区では初めてとなるこの検査専用処理ソフトが搭載されております。

この検査の処理は、脳の線条体を正確に抽出する必要がありますが、本装置の処理ソフトは自動で正確に抽出できるため、解析結果のばらつきを抑えることが可能です。

以上のように、画像処理装置が更新されたことで正確で、再現性の高い画像解析を行うことが可能となりました。



今回導入されたデジタルガンマカメラ(R I 装置)

医療安全週間の取り組み

患者さんの医療安全参加を推進 ～医療安全 みんなの覚え歌～

医療安全管理室 松岡由美子

最近「患者参加」という言葉が頻繁に聞かれるようになりました。患者参加とは、患者さんが、医療者にすべてを「おまかせ」するのではなく、検査や治療の内容を理解し、医療を自ら選んだり受け入れたりすることです。そのために医療者は、患者さんにわかりやすく情報を提供したり、疑問点や不安に思うことについて相談に乗ったりするなど、患者さんが医療に参加できるように全力でサポートします。つまり、患者さんと医療者がいっしょにチームとなって、患者さんに最適な医療を提供するということです。

「患者参加」は安全の観点からも非常に重要です。患者さんの参加なくして医療安全は推進できません。米国保健福祉省AHRQが2000年に発表した「医療事故を防ぐための20のヒント」では、医療事故防止のために患者自身が医療チームの一員として積極的に参加することが重要であると冒頭で述べています。わが国では厚生労働省が2001年に「安全な医療を提供するための10の要点」を策定し、対話と患者参加の要点のひとつとして示しています。

今回私たちは患者さんの医療安全参加を推進するために、具体的な方法を7つの標語にまとめイラストを付け、「医療安全 みんなの覚え歌」ファイルを作成しました。標語の内容は、日々私たちが経験しているインシデント、前述の「医療事故を防ぐための20のヒント」「安全な医療を提供する10の要点」などの中から、当院で重要と考えられた項目を選出しました。「患者情報の正確な収集」「内服薬の飲み間違い防止」「転倒事故防止」「医療への患者参加促進」「手術・検査の準備の徹底」「疑問はそのままにしない」「名前確認」の7項目です。地元の患者さん

に親しんで覚えてもらえるように、標語の先頭の文字をつなげると「おのみち」「しまなみ」が出てくるようになっています。また手にとって何度も繰り返し見



ることができるようにクリアファイルに印刷して医療安全推進週間に配布することにしました。

医療安全推進週間は、医療機関や医療関係団体等における医療安全の取り組みの推進を図り、またこれらの取り組みについて国民の理解や認識を深めることを目的として、厚生労働省が設けています。毎年11月25日を含む1週間とされており、今年は11月23日(日)から11月29日(土)でした。当院では中央受付にポスター

を掲示し「医療安全 みんなの覚え歌」クリアファイルを配布しました。

患者さんの医療安全参加を推進するためには、まず医療者が医療安全に関する意識を高め、安全行動を取ることができなければなりません。患者氏名の確認やわかりやすい情報提供、患者さんの疑問や不安への適切な対応などをあたりまえに実践できる必要があります。患者さんへの呼びかけとともに、院内の職員への働きかけを今後継続していくことが重要です。

リハビリテーション科

リハビリテーション科を紹介します。

理学療法士 13名 作業療法士 4名 言語聴覚士 4名
リハビリテーション助手 2名

当科では、脳血管疾患（脳梗塞、脳出血等）、整形疾患（骨折、変形性関節症等）、心疾患（心筋梗塞、心不全等）、呼吸器疾患（慢性呼吸不全等）、パーキンソン病等の難病、外科の術前術後の患者さんなど、ほぼ全ての診療科の患者さんを対象としています。

発症直後や手術直後、あるいは手術前から積極的なリハビリを実施し、患者さんが早期に自宅退院や社会復帰できるように、各部門と連携して支援しています。

また、当院退院後もリハビリが必要な患者さんには、地域の病院や施設でリハビリが継続できるように連携を図っています。



←リハビリテーション科スタッフ



手指の機能訓練



歩行訓練の様様

第27回文化祭を開催しました

「今年も多くの展示で賑わいました」

2014年11月10日(月)・11日(火)に第27回文化祭を行いました。

文化祭は職員のクラブ活動の成果の披露や、患者さんや地域の方々との交流の場です。患者さん・地域の方々からも展示作品を募り、70名を超える方が出展され様々な作品が展示されました。

職員によるお茶会やアロマテラピーも実施し、非常に多くの方々にご観覧頂くことができました。また、今年にはICT(感染制御対策)ポスターの展示も行い感染予防の啓発も行いました。

ご来場された患者さんのなかには「来年は自分の作品を是非出展したい!」と、すでに、来年度の出展応募の予約をされた方もおられました。

今回は、多数のご応募・ご来場ありがとうございました。次回の開催時も是非ご参加下さいますようお願いいたします。



看護スタッフによるお茶席



アロマテラピーハンドマッサージ



ICTのポスターコンテスト



職員・患者さんによる手芸作品の展示



職員による生け花



職員等による絵画作品の展示

売店・レストランがリニューアル・オープンしました!

焼きたてパンを販売!レストランの新メニューもどしどし!

2014年10月1日に、売店・レストランがリニューアル・オープンしました。

これまで売店・レストランを運営してきた業者の5年間の使用許可の更新に伴い、プロポーザル方式による業者選定を行ったところ、病院利用者の皆様により喜んでいただける売店・レストランとするための様々なアイデアが提案され、今回のリニューアル・オープンとなりました。

店内は、レイアウトの変更を行い、より明るくなりました。

売店には、各種調理パンをはじめ、アップルパイや紅茶スコーンなど、毎日40種類の焼きたてパンが並び、淹れたてコーヒー等の販売も行っています。

レストランもイス・テーブル等を刷新し、新メニューも導入しました。

利用者からは、「毎日焼き立ての温かいパンが食べられて嬉しい。」「きれいになって、売店やレストランの利用が楽しくなった。」などの声が寄せられています。

みなさん是非、ご利用下さい。



明るくなった入口



大好評の焼き立てパン



新しく生まれ変わったレストラン



日用品も充実



売店内にATMを設置

売店・レストランがリニューアル・オープンしました!

尾道市立市民病院 科別診療割表

2015/1/1現在

科別診療割表

診療受付時間 午前8時30分から午前11時まで
 休日・土曜日・日曜日・祝日・12月29日から翌年1月3日

地域連携室 0848-471170
 代表番号 0848-471155(代)

病院案内図

区分	科別	月	火	水	木	金	備考	
午前	内科	1 診	山脇 泰秀 内科全般	山脇 泰秀 内科全般	金尾 浩一郎 内科全般	山脇 泰秀 内科全般	宮田 明 内科全般	
		2 診		水戸川 剛秀 内科全般	開原 正展 腎・高血圧	水戸川 剛秀 内科全般		
		3 診	城戸 雄一 内科全般・腫瘍病	開原 正展 腎・高血圧	松下 裕一 内科全般・腫瘍病	金尾 浩一郎 内科全般	松下 裕一 内科全般・腫瘍病	
		4 診				城戸 雄一 内科全般・腫瘍病		
		5 診	藤野 寿幸 内分泌・代謝				山脇 泰秀 パーキンソン病	
	総合診療科	1 診	片山 晶博	宮田 明			寺坂 友博	
		2 診			巻権 清			
		3 診			住谷 順子 内科全般・内分泌			
	呼吸器内科	1 診	村上 斗司	村上 斗司	検査	村上 斗司	村上 斗司	火曜日午後診療あり
	消化器内科	1 診	河合/高部 ※1	平岡佐規子	河合 良成	河合 良成	宮部 敏生	※1 河合(奇数週)宮部(偶数週)
		2 診		宮部 敏生※2				※2 内科5診で診療
	循環器内科	1 診	岩崎 淳	園光 賢希	高村 俊行	高村 俊行	小林 博夫	
		2 診	小林 博夫					
	神経内科	診療		岡本 美由紀			逸見 祥司	予約制
	外科	1 診	中井 肇 肝・胆・膵・消化器	宇田 征史 消化器・腫瘍下	宇田 征史 外科全般	中井 肇 肝・胆・膵・消化器	村田 年弘 外科全般	
		2 診	松本 朝子 外科全般	上塚 大一 消化器・ヘルニア	上塚 大一 肛門科	川真田 修 呼吸器	川真田 修 乳腺・食道	
	血管外科	1 診		越智 吉樹		越智 吉樹		
	乳腺外科	1 診					下妻 晃二郎 (乳腺外来)	9:00~12:00(予約制)
	整形外科	1 診	廣岡 孝彦(予約)	藤井 淳一	廣岡 孝彦(予約)	藤井 淳一	廣岡 孝彦(予約)	※3 木曾(第1・3水曜日) 岡田(第2・4水曜日)
		2 診		迫間 巧将		木曾 洋平		
		3 診	藤井 淳一	岡田 卓巳	迫間 巧将	田中 千晴		※4 岡田(第1・3金曜日) 藤井(第2・4金曜日)
		4 診	田中 千晴		木曾/岡田※3		岡田/藤井※4	
		5 診		装具			装具	
	形成外科	1 診	高田 温行	高田 温行	高田 温行	高田 温行	高田 温行	
	小児科	1 診	井上 直樹	井上 直樹	井上 直樹※5	井上 直樹	井上 直樹	※5 第3水曜日休診
脳神経外科	1 診	土本 正治	大同 茂	岩戸 英仁	土本 正治	大同 茂		
	2 診					岩戸 英仁		
産婦人科	新患再来 妊婦健診	大村 裕一	大道 千晶 大村 裕一※6	大村 裕一	大村 裕一	大村 裕一	※6 9:30より	
皮膚科	1 診	櫻野 かおり	櫻野 かおり	櫻野 かおり	櫻野 かおり	櫻野 かおり		
泌尿器科	1 診	大枝 忠史	堀川 雄平	大枝 忠史	別宮 謙介	大枝 忠史		
	2 診	別宮 謙介	大枝 忠史	堀川/別宮	大枝 忠史	堀川 雄平		
耳鼻いんこう科	診療あり	診療あり	診療あり	診療あり	診療あり	診療あり	広島大学病院から	
眼科	診療	鎌見 久恵	三船 啓文	三船 啓文	三船 啓文	正岡 佳久	火曜日午前休診	
放射線科	画像診断	正岡 佳久	正岡 佳久	正岡 佳久	正岡 佳久	正岡 佳久		
	治療		片山 敬久(予約)					
歯科・歯科口腔外科		吉田 明弘	吉田 明弘	手術	吉田 明弘	吉田 明弘		
午後	内科	検診	検診	検診	検診	検診	※7 第2・4水曜日	
	消化器内科	検査	検査	検査	肝臓専門外来 (中井/河合)	検査		
	循環器内科	禁煙外来(岩崎)	ヘルスメーカー外来※8					※8 第1・2火曜日14:00より 13:00~17:00
	循環器内科検査	心カテ	検査・診療	心カテ	検査	心カテ		
	血管診療センター	手術	検査	手術	検査	手術	第2・4月曜日	
	外科	ストーマ外来(薄井)						※9 松岡(第2・4月曜日) 本後(第1・3・5月曜日)
	血管外科	手術		手術		手術		
	乳腺外科	乳腺外来 (松岡/本後)※9						
	整形外科	手術	手術	手術	手術	手術		
	形成外科	手術		手術	手術	手術		
	小児科	検査 予防接種	乳児検診 栄養指導	小児科専門外来 (塚原)※10	神経外来(林)※11	循環器外来(益)※12		※10 第2・4(14:00~16:30) ※11 第1木曜日 ※12 第4金曜日(偶数月)
	脳神経外科	検査 頭痛外来(土本)	手術	脳ドック外来(土本) (塚原)※10	手術	検査		14:00より
	産婦人科	検査 手術	母乳外来 1ヶ月検診	母乳外来 (第2,3,4週)	母乳外来 1週間検診	1週間検診		
	皮膚科	検査 手術	手術 手術	手術 検査	検査 手術	検査 検査・予約外来		
	泌尿器科	手術						
耳鼻いんこう科	検査	睡眠時無呼吸外来(佐々木) 黄斑外来(鎌見)※13		検査	検査		※13 14:30より(予約制)	
眼科	画像診断	画像診断	画像診断	画像診断	画像診断		予約制	
放射線科	治療	血管造影		治療(薄井)				
歯科・歯科口腔外科	口腔外科	口腔外科	口腔外科	口腔外科	手術		予約制	
専門外来	禁煙外来	ヘルスメーカー外来 (第1・2週)	脳ドック外来	肝臓専門外来 小児神経外来 (第1週)	小児循環器外来 (偶数月/第4週)		予約制	
	ストーマ外来 (第2・4週)	睡眠時無呼吸外来	フットケア外来 (第2・4週)					
	乳腺外来	黄斑外来	小児科専門外来					
	頭痛外来							

